

文化は山から降りてくる。

香川県の西、観音寺・大野原を潤す柞田川くにながわの源流に

「五郷」という山郷があります。

山の辺に佇む5つの村落、すなわち、

井関いせき、内野々うちのの、田野々たのの、有木ありき・落合おちあい、海老済えびすくい・石砂いっさこを

総称して「五郷」と呼びます。

古くは、伊予や阿波、土佐へと通じる峠道として、

四国の様々な文物が五郷を通って讃岐にもたらされました。

山から始まるいのちのつながり。

山は水を生み、木を育て、さまざまな恵みをもたらします。

讃岐山脈に降り注いだ雨は、川を下り、里の田畑を潤します。

雨の少ない香川にあって、

五郷につくられた井関池、豊稔池、五郷ダムは、

大野原の水がめとして、農業や人の暮らしを支えてきました。

山は水を蓄え、森を育み、里の暮らしをつなぎます。

いまふたたび、山へ。

五郷にはたくさんのお宝があります。

春は山菜と山桜、

新緑とホタルの時期が過ぎれば夏の清流が迎えてくれます。

秋には様々な作物とお祭りが集落を彩り、

山々が紅葉で色付いた後は、雪化粧とみかんの冬がやってきます。

何千回、何万回と繰り返される自然の営みの中で、

五郷の人たちは、いまも自然とともに生きています。

あるものを使って、知恵と工夫で用を足し、

困ったことがあれば共に汗をかき、みんなで笑う。

それは、現代人が忘れていく山との暮らし。

未来へつなげる幸せへのヒントです。

あなたも五郷のお宝を見つけにいきませんか？

